WebORCA OS ネイティブアプリケーション、Chrome 拡張動作不良時に対応について

■概要

OS や Google Chrome のアップデートによる仕様変更やバグががあった場合、OS ネイティブアプリケーション、Chrome 拡張が動作しなくなる可能性があります。

本ドキュメントは OS ネイティブアプリケーション、Chrome 拡張動作不良時に一時的な対応をまとめたものです。

■動作不良時挙動

動作不良には以下の挙動が考えられます。

・ダイレクトプリントがおこなわれない。

・日本語入力自動 ON/OFF が機能しない。

・クライアント保存時に保存先が指定できない。

・レセプトチェック用自動レセ電ファイルが指定フォルダに保存されない。

■対処方法

運用を優先させるため、以下の設定および操作をお願いします。

・ダイレクトプリントがおこなわれない。
→システム管理マスター1010 職員情報画面にて「クライアント印刷時ダイアログ表示」を「1 表示する」に設定していただくと、印刷データがプレビュー表示されるようになりますので、印刷をおこなってください。

・日本語入力自動 ON/OFF が機能しない。
→日本語入力自動 ON/OFF 機能は無効化されますので、手動で日本語入力を ON/OFF してください。

・クライアント保存時に保存先が指定できない。
・レセプトチェック用自動レセ電ファイルが指定フォルダに保存されない。

→ダウンロードフォルダ直下に保存されます。手動で移動をおこなってください。